



vol.14

「消防署」から 「よいこのみんなへ」 水の事故に注意しよう

市消防本部
☎③0123

これからだんだん暑くなってくるけど、みんなは外で元気に遊んだり、勉強したりしてるかな。でも、注意してほしいのがさまざまな事故。特に夏は、川や海、プールなどでおこる水の事故が増えるんだ。そのような事故にあわないためにどうしたらいいのかよく読んでほしいな。

水の事故はどのくらいおきているの？

夏のあいだに、水の事故はどのくらいおきているんだろう。

毎年、千人ぐらいの人が、水の事故で亡くなったり、行方不明になっているんだけど、そのうち、六月から八月の夏のあいだに、五百人ぐらいの人が、亡くなったり、行方不明になっているんだ。水の事故は、一年を通しておきているけれど、みんなが海水浴などに行くことの多い夏が一番

多いんだね。

どんなところで事故がおきているの？

海水浴やキャンプに出かけて、事故にあうこともあるけれど、家のまわりにも危険なところはたくさんあるよ。ため池や用水路、ふたのないマンホール、さくや開いたない池・堀などは、危険だから近づいてはいけないよ。遊んでいるうちに、足をすべらせて、落ちてしまうことがあるから、じゅうぶんに気をつけようね。

よいこのやくそく

- 水泳・水遊びが禁止されているところや、深いところ、流れの速いところでは、泳いだり、遊んだりしないようにしよう。
- 泳ぐ前には必ず準備運動をしよう。
- 天気が悪いときや、波の高

いときは、水辺で遊んだり、泳いだり、魚を釣ったりするのはやめよう。

○プールの排水口には、絶対に近づかないようにしよう。

○気分が悪くなったら、すぐに水からあがろう。

○もし、友達がおぼれたら、こどもだけで助けようとしなくて、大きな声でおとなの人を呼ぼう。

川や海などに出かけるときに、気をつけなければならぬことがあるのはわかったかな。

みんな、しっかり守って、楽しい夏の思い出をたくさんつくろうね。

消防に関する意見・質問は

- ・北消防署 ☎③0119
 - ・南消防署 ☎③0119
 - ・濃南分駐所 ☎⑤20119
- へどうぞ。

悩んでいませんか？

～ファミリー・カウンセラーがアドバイス～
vol.26

高齢者にかかわる悩みごと

A.介護はまず家族で話し合い、そして助け合いながら

寝たきりのお父さんにどんな生活支援が必要なのか分かりませんが、ホームヘルパーの派遣の要請や、お年寄りを一日あずかってもらい介護サービスも受けられるデイサービスの利用が考えられます。

一緒に考えることが大切

B男さんは、介護の疲れが出ているあなたのことをどのように感じているのでしょうか。ホームヘルパーの派遣は、毎月の回数や時間が制限されています。これからの介護について、B男さんの協力をあなた自身

Q.在宅での介護

夫・B男の寝たきりになった77歳の父親を引き取って、面倒をみている主婦です。介護の疲れで体調を崩してしまい、病院へ通院しなければなりません。夫は家事には協力的ですが、会社員なので介護のほうは当てになりません。ホームヘルパーを頼みたいのですが…。

が考え直してみませんか。

例えば、休日や休暇のときはB男さんに介護をしてもらい、その間にあなたがやりたいことができるように理解を求めるのが大切です。その上で、介護にホームヘルパーに参加してもらい、寝たきりにならないような介護方法について助言を得るなどしたらよいでしょう。

あなたの悩みをB男さんとともに考え、介護の道を歩めば、家族のきずなはより一層強くなるのではないのでしょうか。
(カウンセラー・高桑博)

